

2021年4月18日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**  
第64巻第3号(通算3231号)  
教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:15-10:30 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください  
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう  
**週報**

教会標語

かみさま つく  
神様が創られたすべての命を  
たいせつ きょうかい  
大切に作る教会



ホームページ「久宝教会」  
(ウェブサイト)

http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai  
【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

私は知っている。／私を贖う方は生きておられ  
後の日に塵の上に立たれる。(ヨブ記 19:25)

ふっかつせつだい しゅじつれいはい  
**復活節第3主日礼拝**

《大阪では新型コロナウイルスの感染拡大が続いています。礼拝はインターネット中継をしていますので、ご自宅でも共に礼拝をしていただけます》

ぜん そ う もくとう  
前 奏 黙 禱

まね ことば しへん  
招きの詞 詩編

へん せつ  
116編 1-2節

さんび か きょうどうたいさんびかしゅう やみ ひかり  
賛美歌『アイオナ共同体賛美歌集』「闇から光へ」(©JASRAC)

せいしよ れつおうき うえ  
聖書 列王記 上

しょう せつ  
17章 8-24節

いの  
お 祈 り

さんび か きょうどうたいさんびかしゅう ぜつぼう なか しゅ  
賛美歌『アイオナ共同体賛美歌集』「絶望の中に主はよみがえる」(©JASRAC)

メッセージ 「絶望の中に命の神はよみがえる」 牛田 匡 牧師

さんび か きょうどうたいさんびかしゅう かがや ひ く  
賛美歌『アイオナ共同体賛美歌集』「みんなで輝く日が来る」(©JASRAC)

しゅ いの ばん てん わたし ちち きょうだんさんびかかいていいんかい  
主の祈り 21-62番「天にいます 私たちの父」(©教団讚美歌改訂委員会)

ささげもの  
献 げ 物 (\* )

は け ん ばん かみ めぐ う せつ  
派 遣 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ) (©JASRAC)

しゅく ふく うしだ ただし ぼくし  
祝 福 牛田 匡 牧師

こう そう ばん ちよさくけんしょうめつ  
後 奏 アーメン コーラス (21-40-6番) (©著作権消滅)

ほう こ ぐ ページ さんしょう  
報 告 (4頁をご参照ください)

《お隣と間隔をあけて、席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

\* 「献げ物(献金)」は参加費ではございません。

うけつけ けんきんばこ ようい かた ささ  
受付に献金箱がございます。ご用意のある方のみ、お献げください。

招きの詞 詩編 116編 1-2節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

<sup>1</sup>私は主を愛する。／主は嘆き祈る私の声を聞き

<sup>2</sup>私に耳を傾けてくださる。／私は生きるかぎり呼び求めよう。

聖書 列王記 上 17章 8-24節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

<sup>8</sup>主の言葉がエリヤに臨んだ。<sup>9</sup>「すぐにシドンのサレプタへ行って、そこに身を寄せなさい。私はそこで一人のやもめに命じて、あなたを養わせる。」

<sup>10</sup>そこでエリヤは、すぐにサレプタへ向かった。町の入り口まで来ると、そこで一人のやもめが薪たきぎを拾っていた。エリヤは彼女に声をかけて言った。「器に少し水を持って来て、私に飲ませてください。」<sup>11</sup>そこで彼女が水を取りに行こうとすると、エリヤは呼び止めて言った。「どうかパンも一切れ持って来てください。」<sup>12</sup>すると彼女は答えた。「あなたの神、主は生きておられます。私には、焼いたパンなどありません。かめの中に一握りの小麦粉と、瓶に少しの油があるだけです。見てください。私は二本の薪を拾って来ましたが、これから私と息子のために調理するところです。それを食べてしまえば、あとは死ぬばかりです。」<sup>13</sup>エリヤは言った。「心配は要りません。帰って行き、あなたが言ったとおりに調理しなさい。だが、まずそれで、私のために小さなパン菓子を作り、私に持って来なさい。その後で、あなたと息子のために作りなさい。

<sup>14</sup>なぜなら、イスラエルの神、主はこう言われるからです。『主がこの地に雨を降らせる日まで、かめの小麦粉は尽きず、瓶の油がなくなることはない。』

<sup>15</sup>やもめは行って、エリヤの言葉どおりにした。それで、彼女もエリヤも、彼女の家の者も幾日も食べることができた。<sup>16</sup>主がエリヤを通して告げられた言葉どおり、かめの小麦粉は尽きず、瓶の油がなくなることもなかった。

<sup>17</sup>これらの出来事の後、この家の女主人の息子が病気になった。病気は大変重く、その子はいよいよ息絶えた。<sup>18</sup>彼女はエリヤに言った。「神の人、あなたは私と何の関わりがあるというのですか。あなたは私の過あやまちを思い起こさせ、息子を死なせるために来られたのですか。」<sup>19</sup>しかしエリヤは、「子どもを私によこしなさい」と言って、彼女の懐ふところから息子を受け取り、自分が泊まっている階上の部屋に抱いて上がり、寝台に寝かせた。<sup>20</sup>そして主に叫んだ。「わが神、主よ、私が身を寄せているこのやもめにまで災いをもたらし、その子を死なせるおつもりですか。」<sup>21</sup>彼は子どもの上に三度身を重ね、主に叫んだ。「わが神、主よ、どうかこの子の命を元に戻してください。」<sup>22</sup>主はエリヤの<sup>a</sup>願いを聞き入れ、その子の命を元に戻されたので、その子は生き返った。<sup>23</sup>エリヤはその子を抱いて階上の部屋から降りて家の中に入り、その子を母に渡した。そこでエリヤが、「御覧なさい。子どもは生きています」と言うと、<sup>24</sup>彼女はエリヤに言った。「あなたが神の人であることが、たった今分かりました。あなたの口にある主の言葉は真実です。」

(脚注 a:直訳「声」)

メッセージ「真実を見て、偽ることなく語る」より

聖書：マタイによる福音書 28章 11-15節

日本語には「百聞は一見に如かず」ということわざがある通り、誰でも事実を目にすれば、必ず理解し納得できるはずだと思っていました。しかし、今や「真実を見て、偽ることなく語る」ということ、それ自体が絶滅寸前なのかもしれません。感染者が急増している新型コロナウイルスへの対応にしても、福島第一原発事故の放射能汚染にしても、為政者たちは事実を見て、見て見ぬふりをして偽って語っています。なぜなら「立場上、そうとしか言えない」ということでしょうか。今回の聖書のお話は、そんな「自分の立場を守るために事実を認めなかった」番兵たちの話でした。

この番兵たちは、イエスの遺体が盗み出されないように、祭司長たちの依頼によって総督から派遣されたお墓の見張りでした。そのために女性たちがやって来て、空っぽのお墓を見て、み使いと出会った時、彼らもそこに一緒にいました。しかし彼らはその後、急いで都に戻り祭司長たちに相談しました。もし遺体が無くなったということがバレたら、自分たちは処罰されると心配したのでしょう。祭司長たちは遺体がないことから「イエスが復活した」と民衆が騒ぎ出すと立場がなくなるので、兵士たちに金を与えて「『弟子たちが夜中に死体を盗んで行った』と言いなさい」と言いました。彼らもまた自分たちの保身のことしか考えていなかったわけです。番兵たちはこの後「教えられた通りにした」そうですが、「見張りの責務を怠った」ということで、やはり処罰されたのかもしれません。番兵たちは、女性たちと同じ経験をしたにもかかわらず、その復活を認めることが出来ませんでした。また祭司長たちも番兵たちの報告を聞いたにもかかわらず、やはり復活を信じる事が出来ませんでした。それは彼らが、自分の立場や主義主張にこだわっていたからではないかと思えます。そのために彼らは、その立場を一時的に守りこそすれ、復活のイエス様による真実の命に気付くことはありませんでした。

経済学者の安富歩(あゆみ)さんは、日本は「立場主義国」と言い、多くの人は命よりも「立場」を守ろうとしていると指摘しています。日本社会には「立場のためには命すら惜しまない」という気質が何百年も昔からあり、400年前の宣教師たちが作った辞書には、「立場を守って討ち死にした」という用例が記されていた程です。復活のイエス様と出会うということ、それは「立場を守って討ち死にする」のではなく、むしろ立場を離れて、真実の命を生きるということだと思います。真実を見て偽ることなく語るのは、なかなか難しいことです。勇気の要ることです。それは、これまでに経験したことがない自分の「立場」が脅かされることかもしれません。それでも復活のイエス様、真実の命は、そこにこそあるのではないのでしょうか。私たちは今も生きて共にいてくださる神様と共に、立場ではなく命を守る歩みへと導かれて行きます。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



LINE 公式アカウント



◎ 先週の報告 (4月11日)

礼拝出席 大人3名 (中継動画再生数 21回) 献金 大人 4,000円 感謝  
インターネットを介して共に礼拝に参加された方々の正確な人数は分かりませんが、中継動画の削除前の再生数は21回でした。どうもありがとうございました。

◎次週 2021年4月25日(日) 復活節第4主日礼拝

招きの詞 イザヤ書 52章 13-15節  
聖書 ヨハネの手紙一 3章 16-24節<sup>ちひろ</sup>  
メッセージ「愛・死・会い、愛を知る」岡嶋千宙伝道師 (向島伝道所)  
賛美歌 21-197 (©教団出版局)、21-194 (©JASRAC)、21-419 (©JASRAC)  
礼拝はインターネットで中継配信いたします。礼拝の中で4月生まれの方の誕生者祝福式を行います。

礼拝後に、釜ヶ崎支援のために「おにぎり作り」を行い、いこい食堂に届ける予定です。感染予防に留意しながら行います。どなたでもご参加ください。

◎お知らせ

- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、大阪府では「新型コロナ警戒信号：赤色」が続いており、来月5月5日まで「医療非常事態宣言」「まん延防止等重点措置」が出され、「不要不急の外出の自粛」が要請されています。自身が感染しないためにも、また他人に感染させないためにも、そして医療崩壊の現状を早く脱するためにも、教会堂に集まる形での対面式の礼拝にこだわらず、インターネットの中継配信を利用した在宅での礼拝など、それぞれの方が参加しやすい形で礼拝に参加ください。教会では、新型コロナウイルス感染予防に留意しながら礼拝をいたしますが、教会にいらして下さる場合には、ご自身の体調にご注意いただいて、検温、手指消毒とマスク着用、お隣の方との間隔をあげた着席をお願いいたします。「週報」や「メッセージ(全文)」はホームページからダウンロードしていただけます。またご希望の方にはご自宅までお届けいたします。
- ・5月3日(月・祝)に、大人数が集まることを避けるために、大阪地区(東梅田教会)、奈良地区(奈良高畑教会)、和歌山地区(御坊はこぶね教会)の3会場をインターネットでつなぐ形で開催される予定だった大阪教区総会は、現在のコロナの感染状況から中止となり、昨年度同様に書面決議となることが常置委員会で決まりました。今後、感染状況を見ながら、夏以降に対面式の集会として臨時総会が行われるかもしれませんが、詳細は未定で、分かり次第お伝えさせていただきます。

◎公告 本日、礼拝後に2021年度定期教会総会を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、書面決議にすることに変更いたしました。教会員の方々には郵送・Eメール等で議案書をお送りいたしましたので、締め切りが間近で恐縮ですが、同封されている「議決権行使書」にご記入の上、4月24日(土)必着で、郵送・Eメール・FAX等でご提出ください。

◎ 次週以降の行事予定

	会場	メッセージ	行事
4/25	久宝寺地区 久宝まぶねこども園 (新園舎・教会堂)	岡嶋伝道師 (向島伝道所)	(第二好意庭感謝祝福式・牛田牧師) 誕生者祝福式・おにぎり支援
5/2		牛田牧師	ユークリスト・教会を考える会
5/9		水谷牧師?	家族の日礼拝(愛餐会は行いません)
5/16		牛田牧師	

